

# Tochigi Architect Office Association Bulletin

2025  
**1**  
No.120



一般社団法人栃木県建築士事務所協会会報



## 建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって、職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

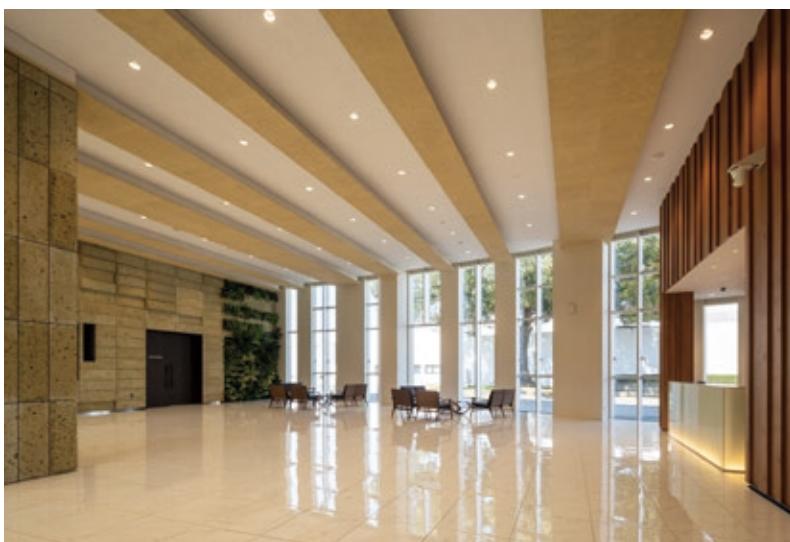
一般社団法人 栃木県建築士事務所協会

## 2025/1 No.120 目次

年頭ご挨拶	会長 山崎 良知	3
令和7(2025)年 新年知事あいさつ	栃木県知事 福田 富一	4
令和7年 新年会開催される		5-6
第46回建築士事務所全国大会(福井大会)・研修旅行記		7-8
青年話創会 2024 福井大会		9-10
マロニエBIMコンペ かながわ 2024		11-12
コラム 総合管理計画・個別施設計画そしてPPP・PFIに思う事	広報・涉外委員会 委員 大高 宣光	13-14
コラム AI(人工知能)を生かすも殺すも人しだい	広報・涉外委員会 委員 中村 清隆	15-16
コラム ワイン・トピックス(3)	広報・涉外委員会 委員 新井 孝	17-20
釣り部通信 No.013 身近でも出来る小物釣	釣り部 部長 桂 貴樹	21-22
新会員・新賛助会員の紹介		23
協会日誌 2024.8 ~ 2024.12		23-24
協会活動通信		25
お知らせ		26
編集後記		26

## 表紙紹介

### デクセリアルズ株式会社 レセプション棟



スマートフォン・自動車領域などに機能性材料を提供するメーカー「デクセリアルズ」の本社・栃木事業所整備の一環としてレセプション棟を建設したものである。建物の外観、外側の表面は金属パネルによる柔らかい表情を演出し、緩やかな2枚の曲面を組み合せた特徴的な意匠は主力商品のフィルム材をモチーフにした。環境目標としてZEBを達成している。企業イメージの象徴となる“CO<sub>2</sub>排出ゼロ”の施設整備を具現化した。内部空間は、すだれを想起させるルーバーの表現や地元産の大谷石の採用など、日本らしい空間と地元・栃木の特産を融合させたデザインを狙った。

AIS総合設計株式会社 小林 孝宏

# 年頭ご挨拶

一般社団法人 栃木県建築士事務所協会

会長 山崎 良知



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より当協会の事業活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日の午後4時10分頃、石川県能登地方で最大震度7を観測する大地震が発生し、能登半島一帯には大津波警報が発令されました。この地震により、多くの命が犠牲となり、建物にも甚大な被害が出ました。全壊した建物は約8,700棟、半壊した建物は約19,000棟、一部損壊の建物も多数に上りました。災害を通じて、我々の役割は、安心安全な建築物の提供にとどまらず、特に既存の建築物の耐震性に関して、所有者や利用者に現状を理解してもらう重要性を強く感じました。

昭和56年6月に建築基準法の構造基準が改正され、それ以前に建てられた建物は「旧耐震建物」と呼ばれ、耐震性に不安を抱えるものが多くあります。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、旧耐震建物に被害が集中しました。昨年の能登半島地震でも、国土交通省の建物の被害状況に関する中間報告によると、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造建物の19.4%が倒壊した一方で、昭和56年以降に新基準で造られた建物の倒壊は5.4%にとどまつたと公表され、旧耐震建物が多く被災したことが明らかになりました。

栃木県では、県が市町と連携し、木造住宅の耐震化を進めています。耐震化に係る費用負担を軽減するため、助成金の交付や旧耐震建物の無料の耐震診断を実施しています。全市町で木造住宅耐震診断士派遣制度があり、当協会もその支援を行い耐震化推進に尽力してまいります。

さらに、令和7年4月には、建築基準法と建築物省エネ法が大幅に改正される予定です。建築基準法では、建築確認申請時および完了検査時に建築士が設計監理を行い、これまで審査を省略していた範囲が縮小されます。特に、確

認申請における4号建築物の特例の範囲が縮小され、改正後は木造平屋建て延べ床面積200m<sup>2</sup>以下の建物のみが特例の対象となり、「新3号建物」として扱われることになります。これにより、200m<sup>2</sup>を超える建築物には申請時に構造関係規定等の設計図書が必要となり、完了検査時にもその審査が行われます。

また、建築物省エネ法においては、現行法では300m<sup>2</sup>未満の小規模建築物に対して建築主に説明義務が課せられていますが、改正後はすべての建築物に対して省エネ基準適合が義務付けられます。そのため、確認申請時に省エネ計算を行い、適合性の審査を受ける必要があり、完了検査時にもその内容が審査されます。

4月の法改正後は、確認申請時および完了検査時に混乱が予想されます。当協会は、建築士サポートセンターを設置し、県内の建築士向けにサポート(相談)を行ってまいります。建築業界への影響や負担軽減に向け、当協会も努力してまいります。

また、働き方改革や設計者不足、特に設備設計者の不足、IoT化の推進など、建築業界が直面する課題に真摯に取り組んでまいります。

昨年は、令和5年度の日事連会員増強活動において、会員増強数が高い単位会に贈られる「会員増強単位会」の表彰を受賞することができました。今後もさらなる会員増強に向けた取り組みを続けてまいりますので、会員の皆様お一人お一人の勧誘活動へのご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様と共に考え、協力しながら課題を乗り越え、建築業界の明るい未来を築くための準備を進めてまいります。

本年も皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、建築業界の益々の発展を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 令和7(2025)年 新年知事あいさつ

栃木県知事

福 田 富 一



一般社団法人栃木県建築士事務所協会会員の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から本県の公共建築物の整備・長寿命化などに御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様から御支持をいただき、引き続き県政運営を担うこととなりました。県内各地で県民の皆様の切実な声やふるさと“とちぎ”に対する熱い思いをお伺いし、改めて知事としての責任の重さを実感しているところであります。今後とも、「対話と協調」、「県民中心」、「市町村重視」を徹底するとともに、「官民連携」を一層強化しながら、スピード感を持って、最大の成果が得られるよう、取り組んで参る決意であります。

さて、昨年は、まち・ひと・しごと創生法が施行され、地方創生の取組が本格化して10年の節目を迎えました。国におきましては、「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置するとともに、「地方こそ成長の主役」との発想に基づき、これまでの取組の成果と反省を生かし、「地方創生2.0」として再起動させるとしております。

県といたしましては、こうした国の動きも踏まえながら、栃木の未来創生に向け、計画期間の最終年度を迎える栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略(第2期)」に掲げる各種施策を積極的に展開し、併せて、両計画を一本化した次期プランの策定を着実に進めて参ります。

特に、喫緊の課題である人口減少問題の克服に向けて、官民連携による「栃木県人口未来会議(仮称)」を設置し、県や市町、関係団体、民間企業等が認識の共有や相互の連

携を図りながら、結婚支援の充実や子育て環境の整備、働き方改革の推進などに取り組むことにより、県全体で実効性を高めて参りたいと考えております。

さらに、女性・若者の活躍を一層推進するほか、県内企業の持続的な貢献を可能とする環境整備、生産性や品質の向上などを実現するスマート農業等を推進し、地域経済の発展・好循環につなげて参ります。また、令和6年能登半島地震に係る国の検証結果等を踏まえ、災害対応力の強化を図るとともに、人口減少局面においても全ての県民が便利で快適に暮らし続けることができる地域社会の実現に向け、デジタル技術を最大限に活用しながら、各種取組を進めて参ります。

加えて、県立美術館、図書館及び文書館につきましては、現在、「文化と知」の創造拠点として一体的に整備する構想の策定を進めているところであります。新たな施設が本県の文化振興の中核として、将来にわたり県民に愛され、誰もが誇りに思える、とちぎならではの拠点となるよう、引き続き、丁寧に検討して参ります。

知事6期目の新たな年を迎えるに当たり、私自らがオールとちぎの先頭に立ち、「誰もが未来に夢や希望を持てる栃木」、「豊かさと幸せを実感できる栃木」の実現に向けて、全身全霊で取り組んで参ります。

栃木県建築士事務所協会会員の皆様におかれましても、本県の建築行政の推進に対しましてより一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

令和7(2025)年1月

## 令和7年 新年会開催される

令和7年1月15日、ホテル東日本宇都宮に於いて当協会新年会が開催されました。210名の参加者があり、盛大に新年を祝いました。



(提供：(株)日本工業経済新聞社)



山崎良知 会長



栃木県知事代理 県土整備部  
建築課長 小又一憲 様



衆議院議員  
船田元 様



国土交通副大臣 参議院議員  
高橋克法 様



衆議院議員 五十嵐清 様



参議院議員 上野通子 様



栃木県議会 議長（当協会顧問）  
日向野義幸 様



(社) 栃木県建築土会  
会長 柴田道夫 様



栃木県建設産業団体連合会  
会長 谷黒克守 様



中締め  
当協会賛助会長 藤井昌一様



乾杯（提供：(株)日本工業経済新聞社）



懇親会風景



県建築士事務所協会新年会

## 省エネや木材利用を促進 4月の法改正に的確対応

「省エネや木材利用を促進するための法改正」が、4月に施行される。この改正により、省エネや木材利用の促進がより実現可能になると期待される。一方で、新規建築や改修工事における省エネ性能の向上が求められる一方で、既存建築の省エネ化に対する課題も浮上している。また、木材の利用拡大による森林資源の保護や、省エネ性能の向上による社会的・環境的貢献が強調される。今後は、これらの課題に対応するため、政策立案や実施が重要な課題となる。

（参考）新規建築の省エネ性能向上と木材利用拡大による森林資源保護



栃木建設新聞 (R7.1.17)

新役員紹介

# 第46回建築士事務所全国大会(福井大会)・研修旅行記

広報・涉外委員会

副委員長 鮎澤 浩

今回、初めて建築士事務所全国大会に参加することになり、2泊3日の福井研修旅行に行ってきました。期待と不安が入り混じる中、全国から集まる建築のプロフェッショナルと共に過ごすこの時間は、数々の建築物を巡ると同時に、仲間との交流や予想外の出来事が多く、忘れられない経験となりました。

## 1日目：福井へ向かう道中と基調講演



朝早く、大宮駅の新幹線改札前に24名が集合しました。北陸新幹線「かがやき」に乗り込み、約2時間半の道中。車内では、ビールやワインを楽しむ人、仮眠をとる人、談笑する人とそれぞれがリラックスしていました。しかし、福井駅に到着したら、早速アクシデントが発生！なんと2名が新幹線に携帯電話を忘れてしまったのです。

JR東日本に連絡しましたが、すでに敦賀に向かっているため、西日本エリアの担当に切り替わっており、なかなか繋がりません。忘れた本人たちは冷や汗をかき、他のメンバーも心配しましたが、幸いなことに1つは東京駅、もう1つは敦賀駅で無事に見つかり、一件落着。全員が安堵し、「忘れ物に気をつけよう！」と再確認しました。

福井駅に到着後、隈研吾さんが設計したレストラン「開花亭 Sou-an」で美味しい懐石料理をいただき大いに盛り上がりしました。

午後は、忘れ物をしたメンバーが、ひとり敦賀駅へと向かいました。



先ほど盛り上げてくださったメンバーが、ちょっと飲み過ぎた模様で転んでしまい、手のひらに傷を負ってしまいましたが大事に至らずひと安心、大会会場入場です。

隈研吾さんの基調講演が待っていました。隈さんが世界各地で手掛けたプロジェクトの話は魅力的でした。特に「ノマディック」で学生と共に活動した話や、コンテナを木で作った仮設レストランの話が心に残りました。また、坂本龍一さんとの協力で作り上げた「積み木」に日本の文化を取り入れたエピソードも非常に興味深く、共感を覚えました。



行きの新幹線

夕食は福井市内の「柳月亭」で行われました。役員は大会のパーティに出席してから遅れて合流しましたが、その中で酒井氏のレンタサイクルを巡る冒険が話題に。大会会場から移動する際、酒井氏はシャトルバスではなく、最近流行のレンタサイクルを利用して颯爽と移動。しかし、パーティが終り、皆と合流してスマホを確認すると、レンタサイクルの課金がまだ続いていることに気付いて驚愕！自転車の返却が完了していなかったのです。慌てて路面電車を使い、再び駐輪場へ戻ることに。そこにはまだ自転車があり、胸を撫で下ろしたものの、返却方法が分からず困ってしまいました。恥を忍んで近くの女子高生に聞いてみたところ、「スマートで終了しても、自転車のロックをかけないとダメ」と教えられ、ようやく無事に返却。アクシデントを経ても行動力に溢れる酒井氏に感心しつつ、夕食は大いに盛り上りました。

## 2日目：永平寺と恐竜博物館

2日目は早朝にホテルを出発し、バスで永平寺へ向かいました。永平寺は、欲を捨て、すべての生き物を大切にする



永平寺

仏教の教えを感じられる場所であり、荘厳な雰囲気の中で精神を研ぎ澄ますことができました。僧堂の天井絵や構造にも目を奪われ、建築士としても学ぶことが多い場所でした。

その後、黒龍酒造の複合施設にあるレストラン「acoya」で昼食を取りました。驚いたことに、支配人が私と同じ高校「作新学院」の卒業生で、今回参加している仲間にも同校出身者が多く、話が盛り上りました。地元のつながりを感じる不思議な瞬間でした。



同郷会？

午後には、黒川紀章氏が設計した恐竜博物館を訪れました。恐竜の卵をモチーフにしたドーム型の展示室は圧巻で、最初に地下に潜るエスカレーターに乗る時のワクワク感は格別でした。展示場には化石や骨格標本がずらりと並んでおり、まるでタイムスリップしたかのような錯覚に陥るほど。その迫力とスケールに圧倒されましたが、特別展を観る時



東尋坊

間がなかったことが少し心残りです。

東尋坊を散策し、崖っぷちまで行くとかなり怖く、皆さんが記念撮影の際、笑顔が少し引きつっていたのが面白かったです。

2日目の夜は、中華料理での宴会、二次会、三次会と盛り上りました。そして、メンバーは大浴場でのんびりした後、エレベーターに乗って、スマホを取り出そうとした際に「チャリン」と音がし何かと思って確認すると、どうやらポケットからルームキーが落ちてしまい、エレベーターの隙間に吸い込まれてしまったようです。すぐにフロントに報告し

たところ、申し訳ないがルームキーの代金を請求される羽目になった模様。エレベーターの隙間に物を落とさないよう、自分も気を付けなければと改めて思いました。

### 3日目：建築巡りと帰路

最終日、3日目は兼六園のガイド付き見学から始まりました。ガイドさんの説明が終わると、なんと彼女はそのままお土産屋の店員に変身し、観光客に商品を勧め始めました。見事な切り替えに驚かされながら、観光地ならではの楽しい経験ができました。



兼六園

その後、石川県立図書館を訪れ静かに見学し、構造体が見える部分が多くディテールをしっかり見学でき、今度は、会社の従業員と一緒に訪れたいと思いました。



鈴木大拙館

次に訪れた鈴木大拙館では、コンクリート現場打ちの仕上がりに感心し、水鏡の庭で静かな時間を過ごしました。そして、最後に「ひがし茶屋街」を散策し、皆が思い思いにお土産を買ったり、金箔ソフトクリームを楽しんだりして、金沢駅から無事に帰路に着きました。解散は大宮駅で行い、初日に携帯を忘れたメンバーも無事に東京駅で携帯を受け取り、安心して帰宅できました。

### アクシデントも含めた充実した研修旅行

いくつかのアクシデントがあり、特に忘れ物やレンタサイクルのトラブルは驚きましたが、全員無事に帰宅できたことが何よりです。また、多くの建築物を専門家の視点で見学でき、非常に充実した研修旅行でした。次回の全国大会は新潟と決まりました。

今回同様に、楽しく学びの多い旅ができる期待しています。

# わ 青年話創会2024福井大会

2024年10月10日(木)、福井県の福井市にぎわい交流施設ハピリンホールにおいて、『次世代へ紡ぐ』をテーマに、青年話創会2024福井大会が開催されました。

栃木会からは、オブザーバーの本澤崇副会長をはじめ、安藤篤史常務理事、桂貴樹理事、渡辺純一理事が参加しました。

大会では、全国から集まった話創会メンバーを1テーブル14~15名の9グループに分けて、『青年世代がつくるこれからの働き方』をテーマとし、テーブルディスカッションを行いました。



## 桂 貴樹

**【議論の内容】** 建築士事務所におけるDX化と働き方改革への対応について

**【感想】** 私が参加したテーブルでは単独設計事務所をはじめ、施工会社やメーカーを兼業する設計事務所の方が複数いました。それぞれ業務形態が違う方々と話をしたなかで感じたのは、DX化をしやすい業態と、しにくい業態が明らかに存在することでした。特にマニュファクチャな部分を含まざるを得ない業態の場合はDX化による恩恵は得づらくなるようでした。しかしながら、業務のスケジュール管理などはどの業態においてもDX化しやすく、データ化し可視化・共有化することで、個人単位・グループ単位での隙間時間の検討がしやすくなり、その部分を業務改善のための教育に充てることが可能であるなど、共通して取り組める可能性も見出すことが出来ました。全国の仲間の事例を聞きながら考えることで新たな視点から光明を見出しが



安藤篤史 常務理事



桂貴樹 理事



渡辺純一 理事



福井駅前 恐竜と仲間たち（左から 本澤、安藤、桂、渡辺）

出来、大変有意義な議論ができたと感じています。

最後に、懇親会のあと夜釣りに訪れた漁港は常夜灯の明かりが美しく、夜中でも底まで見通せる透明度の高い海と、群れをなして泳ぐ魚たちに感動の溜息が出る時間を過ごすことも出来ました。恐竜だけではない福井県の素晴らしいを肌で感じることが出来て、大変素敵な時間を過ごすことが出来ました。

## 渡辺 純一

**【議論の内容】** 魅力ある働き方改革について

**【感想】** 2024年青年話創会・全国大会は3年前の熊本・鳥取に引き続き、3回目の青年話創会参加となりました。

今回の「青年世代がつくれるこれからの働き方」というテーマは、現在直面している「働き方改革」という重要な課題について、全国の同年代の方々との意見交換ができる、非常に良い機会だったと思います。

抱えている課題は、様々ではありますが、業界全体として、高齢化が加速度的に進む中、「若い人がなかなか入ってこない」、「子育て世代の女性の離職」といった課題に対して、いかに魅力的で働きやすい労働環境を会社として作り上げるか、という部分について、多くの意見交換ができたことは、非常に有益でした。

来年は関東甲信越ブロック内の新潟開催です。いつもの

メンバーだけでなく、少しでも新しい方の参加を頂けたらと思います。青年話創会世代の方はぜひ奮ってご参加ください！

討議後、各テーブルから発表が行われ、締めくくりに今回の青年話創会の感想を日事連青年部会連絡会議 前主査として、本澤崇副会長が述べました。

## 本澤 崇

日事連青年部会連絡会議の前主査として、青年話創会 2024 福井大会に参加しました。このイベントは、2016 年の第 40 回全国大会時に、青年世代を集結させる目的で特別企画として始まり、私が準備委員長として関わりました。その後、青年世代の組織化の始動に繋がり、以降の全国大会に合わせて継続して開催され主管単位会の青年世代（青年部の有無に関係なく）が企画運営して継続して開催されています。当初、47 都道府県の中で青年組織を持つ単位会は 14箇所でしたが、現在では 39 単位会に増え、また全国 6 ブロック全てに青年組織が発足しました。今回前主査として参加しましたが、9 年前に次世代組織を持たない組織は衰退すると危惧をしてから、数々の困難を経てここまで来たことに感慨深さを感じています。まだ発展途上ではありますが、次世代の礎となる組織として、業界が一層発展することを祈念しております。

追伸 齢 52 歳。これでようやく『青年世代』から抜けられる（笑）



当時の全国大会で  
「青年話創会」の報告



第 1 回目の話創会スタッフ



第 1 回目の会場風景

話創会閉会後は懇親会へと続き、さらに絆を深めます。

## 安藤篤史

今回は、アトラクションを取り入れた懇親会が新たな試みとして開催され、参加者たちは大いに楽しんだ様子でした。福井県の名産品「眼鏡」を使ったユニークなゲーム大会が行われ、1 分間にできるだけ多くの眼鏡を掛けるというゲームです。肩から上であればどんな方法で掛けてもよいとい



懇親会

うルールで、頭に載せたり、メガネのツルにかけたり、創意工夫を凝らして挑戦する姿が印象的でした。福井県ではこのゲームが地元の人々に愛され、盛り上がるイベントだといいます。



“メガ盛り”イメージ

大会では、全国から集まった青年話創会のメンバーが地域ブロックごとに分かれ、司会者の指名でプレーヤーが決定されました。関東甲信越ブロックの新潟県のメンバーがプレイヤーとして参加し、栃木県のメンバーは応援に回りました。会場は一気に熱気に包まれ、白熱したゲーム大会が繰り広げられました。最終的には、近畿ブロックのメンバーが優勝し、50 個以上の眼鏡を掛けるという好成績を収めました。この成績は福井県で行われる大会の優勝者にも匹敵するほどで、会場は大いに沸きました。

興奮冷めやらぬまま、懇親会後も関東甲信越ブロックのメンバーは集まり、二次会へと続き、交流を深めました。また、新たに発足した『話創会 NEXT (関東甲信越ブロック協議会の青年協議会)』として、話創会と共に来年の全国大会新潟大会を盛り上げていくことを誓い、全員で力を合わせ、来年の大会に向けて一致団結を図ることができました。



二次会

# マロニエ BIMコンペかながわ2024



2014年に栃木県で始まったBIMコンペ、「とちぎ建築プロジェクト」は、7年後に全国規模のイベントに成長し、2024年には10周年を迎えました。2024年11月2日、BankART KAIKO（横浜市中区北仲通5-57-2）を会場に、マロニエBIMコンペかながわ2024が開催され、栃木会も実施協力として参加しました。

今回は、協力メンバーの活動内容についてご報告いたします。



BankartKAIKOの入るKITANAKA  
BRICK & WHITE



会場入口



会場全体の様子

## 桂貴樹 理事

私はポータルサイト構築のサポートを主な役割としつつ、過去データの紹介・提供など、実務レベルのサポートを担当していました。開催する単位会の担当者の方とは一番やりとりが多いだろう役割であるため、コンペが終わるまでにはかなり親しくなるところが嬉しいところです。今回のコンペは横浜で民間施設を利用して開催されましたが、これまでに比べて大変おしゃれな雰囲気に包まれたコンペとなりました。審査員の方々もいつもなくリラックスした様子が伺え、会場の雰囲気がコンペに形を与える部分もあるのだと知りました。提出された作品はそれぞれ個性的ではありましたがあくまでも動画として設計を説明することが主流になりつつあるのを感じ、時代の変化を感じました。幼少期を過ごした神奈川県での開催は、なんだかくすぐったい思い出に触れているような感覚をいつも感じながら、楽しく関わることが出来ました。運営に多大な時間をかけて開催して頂いた神奈川会の方には改めて御礼申し上げます。

奈川県での開催は、なんだかくすぐったい思い出に触れているような感覚をいつも感じながら、楽しく関わることが出来ました。運営に多大な時間をかけて開催して頂いた神奈川会の方には改めて御礼申し上げます。

## 渡辺純一 理事

私の役割は、運営システムの構築や、オンライン説明会での配信バックアップでしたが、何度か現地にもお伺いして、神奈川会の皆様とも交流させていただいて、コンペの運営だけでなく、様々な意見交換をさせて頂き、非常に勉強になりました。

課題も、建物単独に対してではなく、横浜の関内の桜通りと、そこにある既存建物を対象とし、提出物も動画でのプレゼンを一次審査で必須とした点が、新しいことにトライしていくマロニエBIMコンペらしさを持っていたと思います。

継続性と、新しいこと、の二点を運営上常に求められている点において、栃木会は継続性の部分において、一定の役割を果たすことができたのかな?と思っています。

来年は、徳島を中心とした、中四国ブロックでの開催となるそうですが、過去のマロニエBIMの事業手法やプラットフォームの運営を、スムーズに使っていただき、よりよいコンペ運営に少しでも寄与できればと考えています。



プレゼンの様子



席次



課題敷地の通り 関内桜通り  
左4Fが泰正ポーチ 右が泰正ビル



課題敷地 泰正ビル



課題敷地 泰正ポーチ



神奈川大学 山家教授（右）と宇都宮大学のメンバー

## 塩田真吾 常務理事

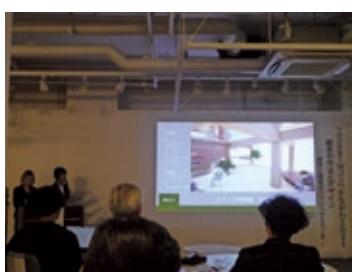
現地でのキックオフ会及びコンペ本番当日に参加しました。

キックオフ会では、敷地選定等の相談、今までの状況等の経験談をお伝えしました。

既に敷地設定の構想があり、この段階でも思いの強さを感じました。

具体的なやり取りは桂・渡辺両理事にて対応頂き、例年通り頼もしい動きを横目に準備が進んでいきました。会場設定を見て本番も楽しみにしておりました。

コンペ本番当日は現地入りし、スタッフというよりご招待というカタチで参加しましたが、マチを開放したイベントに使われている BankART KAIKO は、これまでの本コンペ



栃木県宇都宮大学の発表者

にない歴史的文化を感じる魅力的な会場で、BIM が開かれたものになっていくべきツールであるという思いを感じさせるものでした。審査員も前回に増して、多ジャンルの方の参加があり、また、

休憩中に行われた BIM 使い手の方のミニ講演も興味深く、イベントを通じ、神奈川会の人脈も含めたパワーを感じるマロニエ BIM コンペかながわ 2024 でした。



受賞者審査員集合写真

## 本澤崇 副会長

今回のコンペには、企画段階でお手伝いすることではなく、当日の公開二次審査に日事連の「BIM と情報環境ワーキンググループ主査」として参加しました。対象敷地が横浜関内桜通りということもあり、審査会場は近隣のおしゃれな場所でした。しかし、審査会がスタートすると、緊張感が張り詰める空間に変わりました。その後の懇親会では無礼講の雰囲気が漂い、参加者同士が交流し、新たなつながりを築く場となりました。会場は、緊張から解放された受賞者や審査員の笑いに満ち、受賞者・審査員・会場にいた皆の距離が非常に近い審査会でした。審査結果は日事連会報誌の 3 月号に掲載される予定ですので、ぜひご覧ください。



審査風景

次年度のマロニエ BIM コンペについてですが、まだ公表されておりませんが、「徳島会」が主管となることが決まりました。また、広島会も支援に入ると聞いており、中四国ブロックを巻き込んだコンペになることが期待されています。この新たな展開を通じて、引き続き変化と成長を遂げるイベントになることを願っています。



左から塩田・前BIMワーキング主査の佐野さん・日事連副会長白井さん・本澤

## コラム

### 総合管理計画・個別施設計画そして PPP・PFI に思う事

広報・渉外委員会 委員 大高 宣光

2009 年の夏から 16 年間にわたり会報のコラムを担当してきましたが、設計・監理業務を離れて 39 年間、FM の専門家として多くの官民の施設管理に関わってきて今思う事を、今回最後のコラムとして書き残します。

#### 総合管理計画その後

全国の自治体では、近年 PPP・PFI による施設運営が進められています。これは、施設管理の専門家集団であるビル管理会社に包括的に施設の運営管理を任せる事で、従来のように自らが直接管理運営をしていた時よりも、効率的かつ効果的に公共サービスの提供を図る事を目的として実施され、県内でも採用事例が報告されていますが、そもそも総合管理計画との整合・調整は誰が担っているのでしょうか。

総務省は平成 26 年（2014 年）4 月 22 日にすべての自治体に対して、令和 5 年度（2023 年度）までの 10 年間を見越した総合管理計画の策定を要請しました。更に平成 30 年度（2018 年度）から、令和 9 年度（2027 年度）までの 10 年間について、個別施設計画の策定も求めました。

これを見て大半の自治体が作成した中長期計画の内容には、これから的人口や税収の減少を見込み、今後 30 年間程度で全施設の 30% から 40% を削減し、コンパクトシティの実現を目指す方針が示されています。

総合管理計画は既に策定から 9 年が経過し、個別施設計画も 10 年間の内の 1/3 にあたる 3 年間が終了しようとしています。しかし、当初計画通りに縮減・統廃合が進んでいる自治体がどれほどあるのでしょうか。中には、当初の計画より保有する延べ床面積が増えている自治体もあるという話も聞かれるほど危機的な状況だと言えますが、多くの自治体にその自覚は見られません。

「周りの自治体を見ても、ちゃんと実施できているところなどないので、なんとかなるだろう。」といった共通認識が広がっている様ですが、何故このような状態になってしまったのでしょうか。

これら多くの自治体とは異なり、総合管理計画も個別施設計画も外部委託せず、自らの職員が作成した自治体が全国的には僅かですが存在しています。これらの自治体ではファシリティマネジメントを実践してきた建築技術の職員が計画策定を行い、実行予算の策定にも関わ

り、着実な実施計画に基づいて施設管理が行われています。

#### 土木と建築の根本的な違い

では、専門のコンサル会社に委託した多くの自治体と、自ら策定した自治体との差は何処にあり、何故この様な差が生じたのでしょうか。

同じ金額の建設工事において、様々な材料の種類や個別のディテールの数は、土木工事よりも建築工事の方がはるかに多く、複雑な材料の様々な組み合わせと、躯体費用を超えるほどの電気、衛生、空調、機械設備が設置されて初めて機能するのが建築です。

更に学校建築がホテルや道の駅になったり、議会棟がコールセンターに変わったり、耐震補強の必要な建物の上階を撤去することで耐震工事を不要にしたりするよう、様々な機能用途の集約や転換、運用の変更により使い続ける事が可能なのが建物です。しかし、道路はダムにはならず、橋はトンネルにはなりませんので、運営管理や施設保全計画の考え方方が土木と建築とでは根本から異なります。

土木のコンサル会社においては、機能用途の集約や転換の可能性を含めた保全計画の策定は本来難しい業務であったはずですが、全国の殆どの地方自治体では建築技術職の職員が居なくとも、土木技術職の職員は居るため、土木のコンサル会社に建物の保全計画もまとめて委託していました。

土木のコンサル会社では、土木施設においては耐用年数と経年劣化に基づく修繕費の積み上げが当たり前とされ、その考えを基に建築についても建築保全センターやロングライフビル推進協会から発表されている法定耐用年数表と劣化度の資料を参考にして、保全計画を策定しました。

建築の保全業務に関わったことがある人であれば、「良い設計、良い監理、良い施工」が行われた建物と、そうでない建物との違いを感じていることでしょう。

では、仮に 30 年が経過したとして、片や修繕費もさほど掛からず、この先法定耐用年数を超えて全く問題なく使い続けられる建物がある一方で、法定耐用年数を待たずに既にボロボロな状態となっていて、早くも建て替えが検討されている事例等はいくらでもあります

で、建築の保全計画を立てる場合には個別に実査が不可欠です。しかし、土木コンサルの会社では個別の実査をせずに、建物の経年劣化だけを見て、総務省が求める39年間の保全計画額を算出し、提出資料としたものが大半でした。

このため実査による劣化度に伴う修繕金額の積み上げとはなっていませんので、具体的な次年度の予算計画に使える資料としては不十分であり、結果として総合管理計画と個別施設計画に基づく予算計画とはなっていません。これでは「周りの自治体を見ても、ちゃんと計画通りに実施できているところなど聞いたこともないので、なんとかなるのでは。」と自治体の担当者が思うのも仕方が無い事かもしれません。

## 法定耐用年数について

ここで法定耐用年数について考察します。現在の法定耐用年数は、戦後民間の設備投資を活発にさせて経済力を早く回復させるとともに税収の確保ため、償却年数を大幅に短縮し、再投資をしやすくする事を目的に改定されたものです。その起源は明治32年に遡り、法人課税に減価償却の計算を導入した事点に始まります。

その後、物理的耐用年数と経済的陳腐化とのバランスや減価償却費に関する論議が繰り返され、何度も見直しが行われる中で、その都度法定耐用年数は短くなっています。

つまり、減価償却を前提としない公共建築に現在の法定耐用年数を適用して保全計画を立てる根拠は何処にも見当たりません。公共施設における資産管理の基本は、物理的耐用年数を如何に延長できるかにあります。そのためには、「良い設計、良い監理、良い施工」の確実な実施と、その後の日常修繕が如何に重要であるかが問われるのです。

## 今からでも見直すべき施設管理手法

筆者が共同受賞者として、日本ファシリティマネジメント協会から2020年の日本ファシリティマネジメント大賞奨励賞を受賞した、秋田県藤里町における公共施設マネジメント手法（ふじさとモデル）を紹介します。このモデルでは、建物の実査を行う事は当然ですが、全ての建物について実査のみを行う委託業務とはせず、主要な各建物の管理者に対して、保全計画の立案に必要な金額が大きい主要な修繕項目の点検手法を指導しました。初年度は管理者と一緒に現場を回り、具体的な点検手順や写真の撮り方等の作業手順を教え、一緒に点検資料を作成しました。その後は、管理者が自ら点検表を作

成し、全建物の施設管理データベース（FMデータベース）を構築しました。

更に指導した概算額算出手法に基づき、管理者が自分達で建物の保全に必要な予算を算出できるマニュアルを作成しましたが、当然マニュアルに想定された劣化状況を超える事例や想定外の故障などが発生することもあります。そのため、毎年各建物の点検が終わり、報告書をまとめる段階で、現在でも建築保全計画の専門家として藤里町への支援を続けています。

ここで重要なのは、全国のほとんどの自治体には建築の技術職がいない中で、職員自らの手で年間の維持管理計画から工事予算の立案までを行えるようになったことです。この取り組みには、外部の専門家を活用した支援体制が不可欠であるという点です。

また、総務省からの総合管理計画策定指示を受け、某県の人口1,300人の村が土木コンサル会社に支払った策定委託費が約1,500万円だったことを記憶しています。この金額があれば、この村でどれほど有用な模様替えや修繕工事ができたことでしょう。

更に、PPP・PFI手法を活用して一部の施設運営の効率化を図る事は可能ですが、自治体が保有する資産の全体像を把握せずに、一部のみを外部の専門会社に委託する場合、この委託に含まれている建物と含まれていない建物の劣化度や緊急度の把握に差異が生じます。その結果、委託に含まれていない建物については提案が上がりず、適切な修繕時期を逃してしまう事を加速させる可能性が高くなります。

自治体が所有する全ての建物について、過去から現在までの保全状況を把握できるFMデータベースは、施設の予算管理を担う担当部門にとって必須の資料ですので、PPP・PFIを計画する前には、まずこの作業から始めるべきでしょう。

更に、この作業を行うあたり人材供給元として提案したいのは、各県にある建築士事務所協会の活用です。自治体から設計・監理業務を受託するために入札に参加する建築士事務所では、マッチポンプ的な問題が生じることも考えられるため、この支援業務には当該自治体からの入札に参加しない事を条件とした建築士事務所から、技術協力の形で支援をお願いする事が効果的です。

これにより、年度予算の策定に当たっての修繕計画の優先順位付けや、劣化度に伴う適正な修繕時期の判断などの支援業務を行う事で、自治体側の発注者能力が格段に向上する事が見込まれ、地元への大きな貢献になる事と思います。

## コラム

### A I (人工知能) を生かすも殺すも人しだい

広報・渉外委員会 委員 中村 清隆

今回は近年目覚ましく発展しているA I (人工知能)を取り上げました。A Iはすごい頭脳を持っているわけですが、使い方によっては「倫理観や人としてどうあるべきか」を徹底して教え込むことが必要で、子供の教育と同じだと感じます。人の代わりをA Iに頼むとすると、「何を」教え込むかがこれからの課題ですね。

#### A Iの良い活用例

1. 日曜日お昼前後に放送しているNHKの囲碁・将棋コーナーを見ている方も多いと思います。数年前からプロ棋士対局中に、次の一手でA I予測が出てきます。対局者が真剣勝負で一手指すと、瞬時にA Iが次の候補手3通りを表示し、さらにどちらが優勢かのパーセント表示をします。候補手の数は面積に例えると、将棋が1mm<sup>2</sup>とすると囲碁は人が立ってぐるり地平線を見渡す範囲の面積に相当するぐらい大きな差があるようで、将棋のA Iが1秒で次の候補手を表示するのに対して、囲碁は多少変動しながら数秒で次の候補手を表示します。A I定石なるものが定着し、10年前までは先輩方から叱られるような手が、今やA Iに認められてA I定石となっているもののが数多くあるそうです。将棋も囲碁も、A Iを使って研究している若手に、A I苦手の年配の棋士たちはかなわなくなっているのが現状です。
2. ブッダやソクラテスらの歴史上の偉人の経典や哲学を学習して回答するA Iを、京都大と名古屋大の研究者が開発しました。京都大学熊谷教授(仏教学)ブッダA I「ブッダポットプラス」2023年7月発表、名古屋大学岩田准教授(古代哲学)古代ギリシャのソクラテスやプラトンなど計22人分の哲学を学んだA I「ヒューマニテクスト」2024年5月発表。パソコンのキーボードをたたいて人生相談などの質問を入力すると、A Iが回答を画面に表示する。Q & Aを繰り返し続けることができます。(2025.1.4 下野新聞P15(共同通信配信))
3. 古代インド語であるサンスクリット語を同時翻訳できるA Iもあります。「お盆」や「旦那」「檀家」「ヨガ」はサンスクリット語です。グーグルのWeb翻訳サー



ビスでは、ゼロショット機械翻訳という新たな技術を活用して、世界133語をサポート。法事でお寺の住職が何を唱えているのか瞬時に日本語で理解することができる時代になったのです。

4. トヨタ自動車が静岡市で建設している次世代技術の実証都市「ウーブン・シティ」の第一期工事が完了しました。ウーブン・シティはトヨタの従業員ら約2千人が居住し、先端技術をどう暮らしに役立てるかの実験場とする計画です。自動運転車やロボット、AIを駆使した街づくりを目指す方針です。(2025.1.8 下野新聞P10(共同通信配信))
5. 2017年7月、京都大学と日立製作所がプレスリリース。少子高齢化や人口減少、産業構造の変化が進む中で、どのように人々の暮らしや地域の持続可能性を保つことができるのかを考えるためのシナリオ分析に、A Iを活用した驚愕の研究結果を発表しました。去年1月のNHKスペシャルでも紹介されました。

研究では、A Iによるシミュレーションが描き出した約2万通りの未来シナリオを分類した結果、「都市集中シナリオ」と「地方分散シナリオ」で傾向が二つに分かれることがわかりました。「都市集中シナリオ」は、「人口の都市への一極集中が進行し、地方は衰退する。出生率の低下と格差の拡大がさらに進行し、個人の健康寿命や幸福感は低下する。」に対し、「地方分散シナリオ」は、

「地方への人口分散が起こり、出生率が持ち直して格差が縮小し、個人の健康寿命や幸福感も増大する」というもので、持続可能性という視点からより望ましいとされました。

問題は、その分岐の時期はいつかという点です。解析結果は驚くべきものでした。「今から8～10年後に、都市集中シナリオと地方分散シナリオとの分岐が発生し、以降は両シナリオが再び交わることはない。」ということが明らかになったのです。望ましいとされる地方分散シナリオに大きく転換するには、「地方税収、地域内エネルギーの自給率、地方雇用などについて経済循環を高める政策を継続的に実行する必要がある。」この発表からすでに8年経っています。そろそろ国や地方が発表する数値を分析すると、どちらに向かっているか表れてくるでしょうね。(2018年「地元経済を創りなおす」枝廣淳子著)

## A I の悪い活用例 (2022.12.14 下野新聞 (中央大学 行木陽子教授寄稿))

- 「人間と対話すればするほど賢くなるロボット」として登場したチャットロボットが、開始後16時間で停止された事例があります。チャットロボットが、ある集団から人種差別的な内容を集中学習させられ、ヘイトスピーチを乱発するようになったため起きた事件でした。
- 画像認識技術によるタグ付けの仕組みで、黒人を「ゴリラ」と判定してしまう事例が報告されました。(問題は学習データの偏りに起因する。SNSに投稿された膨大な画像を学習して構築された仕組みだが、



蓄積された画像データは圧倒的に白人が多く、黒人の画像を十分な精度で認識できるだけの学習が不足していたため。)

- 犯罪者の再発可能性を予測する「コンパス (COMPAS)」も、人種的偏見を含んでいる可能性を指摘されました。
- ある米国企業は膨大な投資をしてA Iを利用した人事採用システムを構築しましたが、技術職の採用に性差別があることが分かり利用を停止しました。このA Iは、過去10年間の就職志願者の履歴書データを基に訓練されていましたが、応募はほとんど男性だったことから「技術職は男性を採用するのが好ましい」と認識するようになりました。さらには、履歴書に「女性」に関する単語や、特定の女子大学の名前などが記されていると評価が下がる傾向もみられました。
- 自動運転車が事故を起こした時の責任はだれが負うのか。A Iが制御する自動運転車で事故が避けられない状況下になった時の判断基準をどう設計するのか。この問題を考える時によく引用されるのが「トロッコ問題」です。トロッコの制御が不可能になり、そのまま進むと前方で作業している5人がひかれてしまう。進路を変え別の進路にいる1名を犠牲にするならば5人を救うことができる。この問題に正解はなく、どちらが倫理的か考える人によって正解が異なります。人間でも難しい判断をA Iにさせる場合、どう設計し実装するのか。その結果、事故が起きた際に責任の所在はどうなるか。しっかりと倫理問題と向き合っていく必要があります。

## コラム

### ワイン・トピックス（3）

広報・渉外委員会 委員 新井 孝

日々熱心に建築設計の仕事に取り組んでいる、栃木県建築士事務所協会会員に、私が訪ねたり、見たり聞いたりした、ワイナリー、ワインに関する話題を掲載して、気楽な息抜きの場を提供したいと思います。当面、日本国内のワイナリー紹介をしていきます。

第3回はシャトレーゼワイナリーです。

#### シャトレーゼ会社概要

足利市の西の端、小俣町に城山カントリー倶楽部があります。この西側は群馬県桐生市です。このゴルフ場は、メンバーではないですが、自宅から近いところにあるので、年に1・2回は行く機会があります。足利市内のゴルフ場の中ではリーズナブルな料金で、山岳コースのような感じで、まあまあいい感じのゴルフ場です。

昭和49年頃建設されたゴルフ場な

ので、クラブハウスも、レストランも年季が入っています。当初は東武鉄道が経営していましたが、現在はシャトレーゼが経営しています。シャトレーゼと言えばアイスクリームのお店というイメージが強いと思います。それで食事時にはアイス・ケーキ・スイーツ・和菓子が食べ放題で、女性や甘党の人には大人気ですが食べ過ぎには注意です。ゴルフのプレー中、ティーグランドの脇に菜園があって、誰がこんなところで野菜を作っているのかと不思議に思いましたが、実はその野菜が昼の食材に使われているとのことです。これで話が終わりならば今回の話題は生じません。

尋常でないのは、レストランに生ワインの樽があり、グラスワインが安価で飲めて、これがとても美味しいのです。量り売りの瓶詰販売もしてくれて、瓶を買えば、中味は836円（税込み）で買えます。城山CCに来ると、瓶を



城山CC クラブハウス



城山CC レストラン



ケーキバイキング



スイーツバイキング



生ワイン



アイスバイキング



和菓子バイキング



ワインコーナー



菜園収穫野菜



菜園

持参してワインを1本買って帰るのが楽しみとなっています。カベルネ・ソーヴィニヨンの赤ワインと、シャルドネの白ワインがあり、特に赤ワインは、ジュースのような軽い口当たりで、カベルネの果実味に溢れ、コクもあり病みつきになっています。

このような素晴らしいワインがこの世に存在することは大きな驚きでした。ウエイトレスさんに、このワインはどこから仕入れているのかと聞いたところ、「自社製です」との答えでした。「ロビーのワインコーナーで販売していますよ」と言われ、ますます、これは一体どういうことか、にわかには理解できませんでした。

だんだん見聞きしていくうちに、シャトレーゼという会社のイメージが大きく違っていたことが分かりました。



ガトーキングダム せとうち



シャトレーゼホテル 談露館



ガトーキングダム 札幌



唐津シーサイドホテル



シャトレーゼホテル 石和



シャトレーゼホテル 旅館 富士野屋



シャトレーゼホテル 野辺山



シャトレーゼホテル にらさきの森



シャトレーゼホテル 長野



ガトーキングダム 小海



城山カントリー倶楽部



Lakelands Golf Club



都留カントリー倶楽部



富士見ヶ丘カントリー倶楽部



吉川カントリー倶楽部



東雲ゴルフクラブ

アイスクリームチェーン店かと思っていた会社は、その実態は、山梨県でアイス・生菓子類の製造販売会社を本業とし、山梨県を中心に日本全国で20か所のゴルフ場を運営し、11か所のホテルを経営、さらにスキー場3か所、ワイナリーも山梨県に2か所、そして3か所目を札幌で所有しようという、立派な大会社だったのです。

城山カントリー倶楽部で見たものは、まさに氷山の一角でした。



◀シャトレーゼ  
スキーバレー野辺山



シャトレーゼ▶  
スキーバレー小海

## シャトレーゼワイナリー

山梨県内にはベルフォーレワイナリーと勝沼ワイナリーがあり、周辺には3haのぶどう畠が広がっています。海外に比べると小さい規模ですが、少量多品種で、畠ごとの個性的な味を大切に製造しているところに、ワイン作りへの気概を感じます。



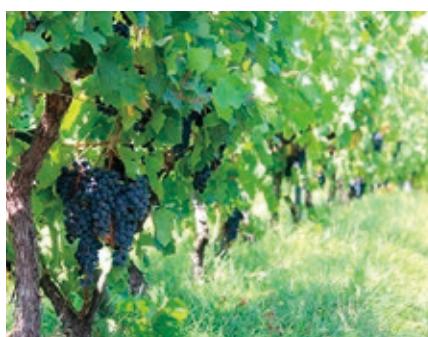
ベルフォーレワイナリー



勝沼ワイナリー



鳥居平農場



赤ぶどう畠



赤ぶどう収穫



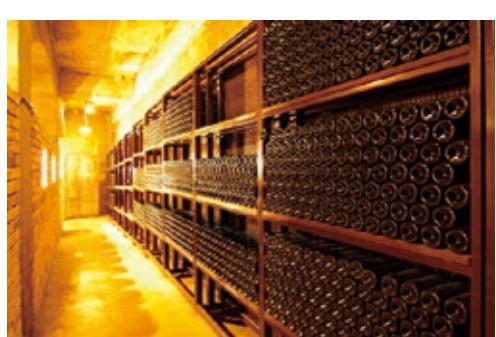
鳥居平農場ぶどう畠



甲州ぶどう畠



収穫風景



ワインセラー



貯蔵庫



工場設備

## ワインリスト

### ベルフォーレワイナリーのワインリスト

城山カントリー倶楽部に置かれてある生ワインは、ここで作られたものです。また、ワインコーナーで販売されているワインも、ここで製造されたものです。



大人のワイン体験ツアーという一泊二日のワイナリー巡り企画もあるようなので、機会があれば参加したいと思います。誰と行くかが問題です。

### 勝沼ワイナリーのワインリスト

値段から判断すると、ベルフォーレのワインは普及品で、勝沼のワインは高級品と見受けられます。

こうした製品の作り分けをするところに、商売のうまさがあると感じます。



一般社団法人 栃木県建築士事務所協会

# 釣り部通信

No.  
013

発行日：令和06年12月25日  
編集&発行：KATSU・LABO  
桂 貴樹



## 身近でもできる小物釣

### 家から5分で広がる用水路というフィールド



冬の寒さが増してくると、海まで釣りに出かけるのも億劫になるときがあるものです。雨も雪も暑さも寒さも釣りをしない理由にはならない、というのは釣りをする人なら常識だとは思いますが、それでもコタツから出たくない理由

として、冬の寒さは十二分な言い訳をさせてくれます。私なんて、釣り好きとしての責任感からこの時期でも夜釣りに出かけますが、釣り場についてはいいものの、寒さにオノノイテ車から降りずに、ただ睡眠だけとて帰ってくることもあります。そんなシニアな私たちに厳しい季節ではありますが、それでも手軽に釣りを楽しみたいという欲求を抑えきれない場合、用水路での小物釣りに挑戦してみてはいかがでしょうか!?

この釣りのいいところは、何と言っても我々のホームである海なし県の栃木県でも楽しめるところです。幸いにも、少し足を延ばせば私たちの家の周りには沢山の用水路があります。普段は覗き込むこともないかもしれない場所ですが、水の色も澄むこの時期に少し覗いてみてください。流れが緩やかになるような場所で、



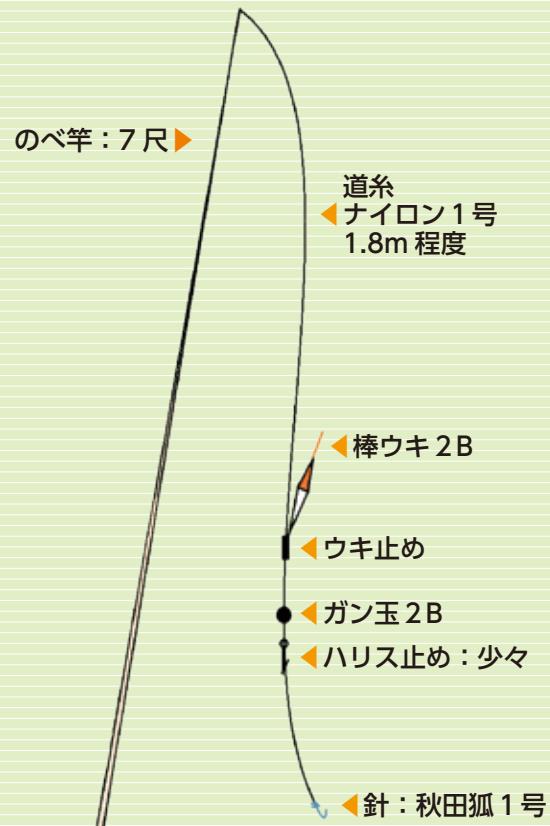
50～60cm程度の水深がある場所であれば、きっと底のあたりに小さな黒い魚の影を見つけると思います。場合によっては、15cm～20cm程度の大きいサイズの魚がいることもありますよ! そんな魚の様子を見れば、ポキポキと折れていたはずのあなたの心にも、無視できない釣りへの欲求がふつふつと湧き上がることでしょう。

実際に私が小物釣りをしている場所はこんなところです。我が家から自転車をこぐこと約2分。畠の中を流れる用水路の曲がり角にある比較的大きめな沢の中を覗くと、こんな冬の季節に、上の写真のような場所でも小さな魚が沢山いるのが見られます。彼らの天敵はサギなどの水辺の鳥なのでしょう。上から覗き込むと警戒してすぐに散ってしまいます。不要な警戒心を与えないよう、そっと、ゆっくりと覗き込むようにしましょう。

写真は左がカワムツの稚魚で、右側がギンブナの稚魚です。魚がいれば、ほんの30～40分でこんな釣果が得られますよ!



使う道具は超簡単です。竿はのべ竿6尺～9尺くらい。お勧めは7尺。7尺～9尺の間で長さを調整出来る竿ならば、さまざまな状況をだいたいカバー出来ますよ。道糸はナイロン1号で十分です。ウキは玉ウキでも大丈夫ですが小物の当たりは纖細なので、できれば棒ウキを使うのがお勧めです。2Bくらいのウキが使いやすいと思います。針は秋田狐の1号がお勧めです。極小さい針なので、自分でハリスを結ぼうなど無謀なことは考えずに黙ってハリス付きの針を買いましょう。もう少し大きい魚を狙うなら、袖針3号程度でも良いと思います。餌は釣具屋に行くと色々売っていますし、ご飯粒やパン粒でも大丈夫です。でも、携帯性の良さや使い勝手、よく釣れることを考えると、マルキューから発売されているハイパー紅雪がお勧めです。保存もきくので、思い立った時に釣りに行くことが出来ます。私のお勧めカラーは紅ソフトですね。



私が使っている道具をまとめるとこんな感じです。ポケットの容量が増える冬の時期ならば、全部ポケットに突っ込んで手ぶら感覚で出かけることが出来ますよ！コタツに飽きたら、少し道具をそろえて小物釣りに出かけてみてはいかがでしょうか？

## 正月の出来事

改めまして、あけましておめでとうございます。

さて、皆様におかれましては、どのようなお正月休みをお過ごしになられましたでしょうか？私といえば仕事納めをした次の日から微熱が続き、年末は家から全く出られずに過ごしました。年が明けた頃から徐々に回復したので、家族と那珂川水遊園に行ってきました。手ごろなサイズの水族館で、気軽に訪れるにはとてもいい感じでした。お土産屋で見かけたこちらの本、栃木県の魚に的を絞って掲載されていて、先に書いた小物釣りのお供にピッタリです！いい買い物をしました。

全然話は変わりますが、那珂川水遊園では広場で凧揚げも楽しみました。子供のビニール凧に水糸をつけて飛ばしたら、思いのほか良く飛んで上空300mを超えるビッグフライトになりました。周りからの注目を集めて息子も誇らしげでしたが、巻き取りに30分ほどもかかってしまい、調子に乗ってはいけないと反省もした一日になりました。



※釣り部通信で使われているイラスト及び画像はすべて著作権フリー又は独自の撮影によるものですが、転用はしないようにして下さい。

## 新会員の紹介



氏名	川崎 達也	(かわさき たつや)
事務所名	株式会社川崎達也建築設計事務所	〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町808番地3
TEL/FAX	TEL.028-680-7686	FAX.028-680-7687
管理建築士	1級第312081号 川崎 達也	事務所登録 A第3664号

## 新賛助会員の紹介

<b>山北調査設計株式会社</b>	<b>営業品目・取扱商品名</b>
代表取締役 林 英幸	● 外壁診断（赤外線調査・打診調査）、地質調査、土質調査、災害調査
住所 〒963-0204 福島県郡山市土瓜1丁目209	営業地域 全国
TEL 024-951-7293 FAX 024-951-7273	● イス張り生地、カーテン、壁紙、カーペット、塩ビ系床材
H P <a href="https://www.yamakita-cyosa.jp/">https://www.yamakita-cyosa.jp/</a>	●
E-mail <a href="mailto:ohhira@yamakita.tv">ohhira@yamakita.tv</a>	●
<b>東京シンコール株式会社 宇都宮支社</b>	<b>営業品目・取扱商品名</b>
川嶋 真	●
住所 〒322-0013 栃木県鹿沼市深津842-1	●
TEL 0289-76-5611 FAX 0289-76-5622	●
H P <a href="https://t-sincol.co.jp/">https://t-sincol.co.jp/</a>	●
E-mail <a href="mailto:m-kawashima@t-sincol.co.jp">m-kawashima@t-sincol.co.jp</a>	●
<b>アキュテック株式会社 関東支店 栃木営業所</b>	<b>営業品目・取扱商品名</b>
所長 関 雄悟	● 杭工事(TGパイル)・地盤改良工事(表層地盤改良、クロスウイングコラム工法、シグマアイ工法、RES-P工法、ピュアパイル工法)・土木工事一式(遮水工事、自走式土地改良など)
住所 〒321-0117 栃木県宇都宮市城南2丁目4番15号	●
TEL 028-655-7873 FAX 028-655-7874	●
H P <a href="https://www.e-accutech.com/">https://www.e-accutech.com/</a>	●
E-mail <a href="mailto:y-seki@e-accutech.com">y-seki@e-accutech.com</a>	●
営業地域 栃木県	●
営業地域 関東一円	●

## 協会日誌

### 8月

- |                                      |                 |                           |
|--------------------------------------|-----------------|---------------------------|
| 7・第32回AP展・第5回建築展(7,8)<br>栃木県県土整備部講演会 | 宇都宮市文化会館で開催     | (来場者380名)<br>(講演会出席者200名) |
| 8・第2回新技術研修会                          | 宇都宮市文化会館で開催     | (参加者42名)                  |
| 20・定例常任理事会(14:00～)・定例理事会(15:00～)     | 栃木県総合文化センターで開催  |                           |
| 21・次世代創造委員会                          | 協会会議室で開催        |                           |
| 23・広報・涉外委員会                          | Web会議           |                           |
| 27・日事連BIMと情報環境WG                     | 日事連会議室で開催       | (本澤崇副会長出席)<br>(横松邦明理事出席)  |
| 29・会員交流委員会                           | Web会議(自社事務所で参加) |                           |
|                                      | 協会会議室で開催        |                           |

### 9月

- |                            |                 |                    |
|----------------------------|-----------------|--------------------|
| 3・技術研修委員会                  | Web会議           |                    |
| 5・県南支部見学会                  | 栃木県立足利高等学校新校で開催 | (参加者70名)           |
| 6・木造建築物耐震業務WG<br>・広報・涉外委員会 | 協会会議室で開催        |                    |
| 10・栃木県木材業協同組合連合会との意見交換会    | Web会議           |                    |
| 11・会員交流委員会                 | ホテルニューオータヤで開催   | (山崎良知会長以下常任理事6名出席) |
|                            | 協会会議室で開催        |                    |

12・次世代創造委員会	協会会議室で開催	
18・業務運営委員会	協会会議室で開催	
・とちぎ元気な森づくり県民会議企画委員会議	県庁北別館会議室で開催	(君島広之副会長出席)
20・マロニ工BIMコンペかながわ2024予行演習	神奈川会で開催	(渡辺純一理事参加)
25・定例常任理事会(14:00～)・定例理事会(15:00～)	栃木県総合文化センターで開催	
26・第Ⅱ期建築土定期講習	とちぎ福祉プラザで開催	(参加者26名)
・総務委員会	協会会議室で開催	
・宇都宮市建築課と建築保全課との意見交換会	市役所内会議室	(山崎良知会長以下常任理事6名出席)

## 10月

3・令和6年度 安全・安心の道づくりを求める県民大会	栃木県総合文化センターで開催	(鈴木秀男専務理事出席)
5・マロニ工BIMコンペかながわ2024公開説明会	神奈川会で開催	(渡辺純一理事出席)
10・日事連青年話創会	ハピリンホール(福井市)で開催	
11・日事連全国大会(福井大会)	(本澤崇副会長・安藤篤史常務理事・桂貴樹理事・渡辺純一理事参加)	
17・技術研修委員会	フェニックスプラザ(福井市)で開催	(山崎良知会長以下28名参加)
22・定例常任理事会(14:00～)・定例理事会(15:00～)	Web会議	
23・耐震診断補強計画事前審査会	栃木県総合文化センターで開催	
28・次世代創造委員会	協会会議室で開催	
30・日事連関東甲信越ブロック協議会会長会議(13:00～)・協議会(14:00～)	宇都宮市内で開催	
	東京会で開催	会長会議(山崎良知会長出席)
		協議会(山崎良知会長以下常任理事7名出席)

## 11月

1・耐震診断補強計画判定会	協会会議室で開催	
・広報涉外委員会	宇都宮市内で開催	
2・マロニ工BIMコンペかながわ2024 二次審査(公開審査)	BankART KAITOで開催	
	(山崎良知会長・本澤崇副会長・塩田真吾常務理事・安藤篤史常務理事・桂貴樹理事出席)	
5・第3回新技術研修会	パルティとちぎ男女共同参画センターで開催	(参加者43名)
7・次世代創造委員会	協会会議室で開催	
13・会員交流委員会	協会会議室で開催	
18・耐震診断補強計画事前審査会	協会会議室で開催	
19・定例常任理事会	協会会議室で開催	
25・耐震診断補強計画判定会	協会会議室で開催	
26・次世代創造委員会	協会会議室で開催	
27・賛助会部会代表との意見交換会	ニューみくらで開催	(参加者14名)
・BIMと情報環境WG	日事連会議室で開催	(本澤崇副会長出席)
28・総務委員会	協会会議室で開催	
・マロニ工BIMコンペかながわ2024最終委員会	神奈川会で開催	(桂貴樹理事・渡辺純一理事出席)
29・栃木県建設雇用改善推進大会	ホテル東日本宇都宮で開催	(参加者7名)

## 12月

4・日事連理事会	日事連会議室で開催	(本澤副会長出席)
5・第Ⅲ期建築土定期講習	とちぎ福祉プラザで開催	(参加者21名)
6・広報・涉外委員会	Web会議	
10・定例常任理事会(16:00～)・定例理事会(17:00～)	宇都宮東武ホテルグランデで開催	
11・会員交流委員会	協会会議室で開催	
12・第177回 関東甲信越ブロック協議会	Web会議(協会会議室で参加)	
	(山崎良知会長・本澤崇副会長・渡邊有規副会長・君島広之副会長・君島広之副会長・鈴木秀男専務理事出席)	
・次世代創造委員会	(自社事務所で参加)	
13・日事連全国会長会議・臨時総会	(塩田真吾常務理事・酒井誠常務理事出席)	
17・2024年度建築BIMセミナー	協会会議室で開催	
19・技術研修委員会	ホテルグランヴェール岐山(岐阜市)で開催	(山崎良知会長・本澤崇副会長出席)
・栃木県設備業協会との意見交換会	小山北桜高校で開催	
(山崎良知会長・本澤崇副会長・君島広之副会長・塩田真吾常務理事・酒井誠常務理事・安藤篤史常務理事・鈴木秀男専務理事出席)	Web会議	
20・第1回日事連NEXT関東甲信越ブロック青年協議会MT	宇都宮東武ホテルグランデで開催	
24・宇都宮市要望活動	東京会で開催	(安藤篤史常務理事出席)
	宇都宮市役所で開催	(山崎良知会長以下6名)



## お知らせ（予定）

### 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

日 時：令和7年3月12日(水)受付9:00～  
講習時間：9:25～16:10  
場 所：栃木県総合文化センター

### 令和6年度 「一級／二級／木造 建築士定期講習」

日 時：令和7年3月13日(木)受付9:00～  
講習時間：9:30～17:10  
場 所：とちぎ福祉プラザ

#### 編集後記

**君島**：へび年。脱皮してさらに成長できることを祈ります。

**栗原**：2025年開けてすぐにインフルエンザA型に感染してしまい年明け早々、5日間休んでしまいました。まだまだ寒い日が続きますので皆様も体調に気を付けてください。

**鮎澤**：建築の学びと仲間との交流が深まる充実した研修旅行でした。ハブニングも旅の醍醐味。次回の新潟大会も楽しみにしています。

**永野**：2月で遂に50歳になります。建設業に入りあつという間の30年でした。今後も宜しくお願い致します。

**早乙女**：現在旅館の改修設計をしているのですが勉強がてらアマン東京を見学。ケリーヒルがデザインした日本らしさに感動。

**中村**：激動の一年が始まりました。年賀状少なくなりましたね。今年もよろしく御願いします。

**大高**：コラムを執筆して16年、書いたテーマの大半はファシリティマネジメントに関連する内容で全部で33件となりましたが、今回を最後に世代交代とさせていただきます。16年間つたない記事にお付き合いいただき、ありがとうございました。

### 令和7年度 第1回新技術研修会

日時：令和7年4月30日(水)  
受付：13:00  
場所：パルティとちぎ男女共同参画センター

**新井**：今年は、いろいろあって正月中、会社で机に向かっていたため、期限内に原稿を送ることができ、清々しい気分でした。

**水沼**：先日、汐留にてル・コレビュジエ展を見てきました。貝殻収集に始まり、ロンシャン礼拝堂をイメージ、後期「牡牛の三部作」絵画も見ました。建築と絵画や彫刻をつなぐ試み「諸芸術の綜合」を体感しました。「やがてすべては海へと至る」晩年、カップマルタンにある休暇小屋での生活を想像し、とてもんびりとした満足感を共有できました。



R6.11.1 広報・渉外委員会および懇親会

#### 【広報・渉外委員会】

担当役員 / 君島広之 委員長 / 栗原弘 副委員長 / 鮎澤浩・永野朋幸・早乙女義明 委員 / 中村清隆・新井孝・大高宣光・岩村克己・大金悟・菅沼徹・高山善樹・中原淳一・菱沼正二・水沼孝明

## 広告のご案内

(一社) 栃木県建築士事務所協会では、情報発信の充実を図るために、広報誌やホームページ等の有料広告を募集しています。広告掲載の申し込み方法や料金など詳細は、下記のとおりですのでぜひご活用ください。

(単位：円) 消費税別

区分	規 格	正会員・賛助会員	★ 一 般
バナー広告	縦50ピクセル 横160ピクセル	10,000／6ヶ月	12,000／6ヶ月
印 刷 広 告	A4版縦 1P (178mm × 239mm)	50,000	60,000
	A4版縦 1/2P (178mm × 116mm)	30,000	40,000
	A4版縦 1/4P (178mm × 57mm)	20,000	30,000
★折込広告	A4・A3 (二つ折り)	30 (10枚まで)／件数	60 (10枚まで)／件数

詳細はホームページ：<https://www.tkjk.or.jp/advertisement.html> をご覧ください！

ISO  
9001・14001  
取得



## 建築の質の向上を目指して



真岡市複合交流拠点施設 monaca

宇都宮本社：栃木県宇都宮市明保野町 2-10

TEL.028-634-6010

東京事務所：東京都港区浜松町 1-21-4 崇城大学会館ビル

TEL.03-5402-4181

埼玉事務所 / 鹿沼営業所 / 大田原営業所 / 茨城営業所



# 豊鉄工建設株式会社

**YUTAKA Ironworker Construction Co.,Ltd.**

国土交通大臣Hグレード認定工場



## 本 社

〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの杜2-23-1

TEL (028) 667-1693 FAX (028) 667-6479



## ゆいの杜工場

TEL (028) 666-6325 FAX (028) 666-6326



### 体育館改修

×

除湿型放射冷暖房  
PS HR-C

2024年、  
茨城県の体育館に  
ピーエスの冷暖房が  
採用されました。



事例資料



**ピーエス工業株式会社**

Tel : 03-3485-8189 Mail : info@psk.co.jp

水戸市小吹運動公園体育館（茨城県）

設計：水戸市建築課

施工：飯村機電工業



協立工業 から

協立NEXTへ



有明テニスの森公園 ショーコート



カンセキスタジアムとちぎ

## 世界トップクラスの技術を誇る 【膜構造】メーカー

最先端の膜構造を創り出す日本の技術とヨーロピアンデザインの統合



協立工業株式会社

<https://www.kyoritsukogyo.co.jp>

【本 社】 〒104-0045 東京都中央区築地三丁目1番10号  
TEL.03-6264-0070 FAX.03-3264-0069

【宇都宮支店】 〒321-0106 栃木県宇都宮市上横田町773  
TEL.028-658-5678 FAX.028-658-1157



一級建築士事務所

株式会社 渡辺有規 建築企画事務所

Watanabe yuki Architecture Planning

栃木県宇都宮市中今泉三丁目7番15号

□東京事務所 □鹿沼営業所 □那須大田原事務所



WY\_ARCHITECTURE\_PLANNING

一級建築士事務所



ゆざわアーキデザイン株式会社

代表取締役 湯澤 敦史

<http://www.yuzawa-arch.com>

栃木県宇都宮市駒生町1837-3 Phone : 028-652-0137 e-mail : yuzawa-arch@royal.ocn.ne.jp

## 赤外線サーモグラフィ調査

建物外壁・コンクリート構造物などの劣化診断はおまかせください！



高層建築物及び調査面積が多くなるにつれ、  
従来の打診調査より赤外線映像法による  
調査手法の方が有効です。  
昨今のドローン性能を活かし、性能の高い  
赤外線サーモグラフィを搭載することで  
調査精度の品質を低下することなく診断  
することができます。



お問い合わせ

山北調査設計株式会社

〒963-0204 福島県郡山市土瓜一丁目 209 番地  
TEL:024-951-7293 FAX:024-951-7273

## 老朽化した施設の改修で お困りではありませんか？

### -大規模改修補助金-

※本補助金に対する公募には、社会福祉連携推進法人への加盟が条件となり  
当協会ではその法人等への加盟支援を行っております。

#### LED照明設備改修工事



#### 耐震化改修工事



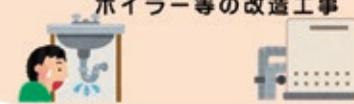
#### 外壁改修工事



#### 屋上等の防水工事



#### 給水設備や ボイラー等の改造工事



#### ・高効率空調の熱源改修工事 ・アスベスト処理工事 ・バリアフリー化工事 等

**対象施設** 30床以上の 特養、ケアハウス、  
老健、介護医療院 他

**補助率** 3/4補助(総事業費6,160万円)

当協会は一般社団法人の非営利団体であり、補助金の普及活動を目的としているため、現地調査からご提案、  
公募申請書作成、他業務をすべて無償でお手伝いさせていただきます。



一般社団法人  
**東北再生可能エネルギー協会**

【本 部】 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目4-25シティタワー仙台703

TEL : 022-794-7040

【栃木支部】 栃木県宇都宮市若草3-17-8

TEL : 028-666-8970

福島支部・青森支部・岩手支部・山形支部・関東支部



受賞製品「オープンセサミ」  
詳しくはこちら▶



第18回キッズデザイン賞 受賞  
子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門



KIDS  
DESIGN  
AWARD  
2024

小松ウォール工業株式会社

本 社/石川県小松市工業団地1-72 TEL : (0761)21-3131 (代)  
宇都宮支店/宇都宮市馬場通り1-11 TEL : (028)612-2591 (代)



電気設備設計施工

明るい、あした、スイッチ。

株式会社 美工電気  
代表取締役 富塚典孝

〒321-0104 栃木県宇都宮市台新田1-14-4

☎ 028-658-6121(代)

fax : 028-659-8982

<http://www.bikodenki.com/>

次代の時代へ→提案力+施工力

次代へのプラスがここにあります。

一般社団法人  
栃木県建築士事務所協会の皆様と共に歩む…

営業品目

- 建築・住宅資材関連
- 土木・基礎構造材関連
- 省エネ・環境・セキュリティ関連
- リニューアル関連
- 外装リフォーム関連

東証スタンダード

URL <http://www.fujii.co.jp/>

藤井産業株式会社

本社：宇都宮市平出工業団地41番地3 TEL 028-662-6077

東北支店・水戸支店・つくば支店・東京支店・千葉支店



鉄筋工事で地域社会に貢献する

株式会社 力ネダ

代表取締役 金田剛

〒321-0404 栃木県宇都宮市芦沼町字湯殿神社前3827番地

TEL (028) 674-1558(代) FAX (028) 674-1557

E-mail : [tetukinn@hyper.ocn.ne.jp](mailto:tetukinn@hyper.ocn.ne.jp)



栃木県鉄筋工事業協会会員

# ARC - SAKAI

株式会社 酒井建築設計事務所



祝 米寿 会長 酒井 淳  
還暦 社長 酒井 誠

生コンクリート製造販売、高強度コンクリート大臣認定工場 MCON-3459、3460  
骨材、碎石、砂利、骨材 (RC) 再生骨材、地盤改良(タフロック)

《営業地域》栃木県及び関東地区  
《営業科目》生コンクリート

## 菊一生コン株式会社

代表取締役社長 菊地 伸克

本社 〒321-0913 宇都宮市上桑島町2100 TEL 028-656-6075 FAX 028-656-8038  
E-mail : kikuichinamakon@indigo.plala.or.jp

～顧客のニーズに応え、安心と信頼を提供します～



## 株式会社 フケタ設計

代表取締役社長 三柴 富男

本社／栃木県宇都宮市大曾1-5-8 TEL.028-622-8928(代) FAX.028-622-0850

栃木、茨城、群馬、さいたま、東京、千葉

HP <http://www.fuketa.com> E-MAIL [info@fuketa.com](mailto:info@fuketa.com)

ISO9001:2015認証取得

タイル工事・石工事・リフォーム工事



## 八三モ株式会社



代表取締役社長 橋 本 徹

本 社 栃木県大田原市南金丸2000

TEL 0287-24-0010(代) FAX 0287-24-0015

東京営業所 東京都北区赤羽西1-35-9 たきしん赤羽ビル5階

TEL 03-5963-6685 FAX 03-5963-6686

東北出張所 宮城県仙台市青葉区愛子東1-15-24

TEL 022-226-8455 FAX 022-226-8456



建築・土木総合資材に信頼と奉仕を



株式会社 佐山

〒328-0024 栃木市樋ノ口町66番地1

建材部 TEL (0282)23-1381 / FAX (0282)23-1457  
E-mail: info@kk-sayama.co.jp  
(日本金属工事業協同組合員)

鐵筋部 TEL (0282)22-3081 / FAX (0282)22-3070  
E-mail: info@sayama-tk.jp  
(栃木県鉄筋工事業協会会員)

スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法

## 「エルマッドS工法」

建築技術性能証明書 GBRC 第11-14号 改3  
(財)日本建築総合試験所

「職人の技術」をデータ管理により、見える形へ  
出来高と混練度(均一性)を数値管理化します

株式会社 エルフ

〒761-0102 香川県高松市新田町甲2089-4  
TEL 087-843-1514 FAX 087-843-1781  
<http://www.elf-inc.co.jp/> E-mail:welcome@elf-inc.co.jp  
営業所 名古屋・宇都宮



日本の未来を造る仕事！

株式会社ユウケイ工業

**uk.co.,ltd**  
https://www.uk77.jp  
TEL 028-673-9228

足場工事はお任せください！



わたしたち KMGグループ は確かな技術と信頼でお客様の夢と暮らしづを  
なかへいお付き合いでサポートします。



地域社会に貢献  
KMGグループ

株式会社 増渕組

代表取締役社長 増渕 勝明

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町2500番地15  
TEL (028)633-7373 FAX (028)633-7251



～未来に向かって・創造・貢献・前進！～

## 栃木県木材業協同組合連合会

理事長 東 泉 清 寿

〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丁277番地1  
TEL: 028-652-3687 FAX: 028-652-1046  
URL: <http://www.tochiginoki.com>

空調 給排水 衛生 電気工事 太陽光発電 設計・施工・メンテナンス



明るい笑顔、そして未来へ。

## 日神工業株式会社

代表取締役 神 宮 厚

本社/宇都宮市東塙田2丁目8番41号 TEL 028-627-7571 代 FAX 028-625-9868  
支店・営業所/両毛・栃木・真岡・下野・大田原・東京・鹿沼・砥上

建築塗装工事 鋼橋塗装工事 正 防水工事  
交通安全施設工事

## 根 本 塗 装 株 式 会 社

代表取締役 根 本 和 典

宇都宮市大通り2丁目3番16号  
TEL (028) 634-6221(代) FAX (028) 633-3450  
E-mail [nemoto@peach.ocn.ne.jp](mailto:nemoto@peach.ocn.ne.jp)

ビジネスソリューションカンパニーとして  
お客様の問題解決の道を照らします

栃木キヤノン事務機販売株式会社

<https://www.t-canon.co.jp>

〒321-0111 宇都宮市川田町780-6 TEL 028-633-5400



街を創る。笑顔を作る。

# 渡辺建設株式会社

代表取締役社長 渡辺 真幸

〒321-0961 栃木県宇都宮市今泉新町180番地 URL:<https://watanabekensetsu.jp>



あなたのヒラメキ  
を創造します

MATSU  
PTD.  
INSATSU

「こんなチラシをつくりたい。」  
「あんなパンフレットができたらしいのに。」  
そのヒラメキを是非私どもにお教えください。  
紙媒体、映像、ホームページ作成。  
あなたの想いを創造するお手伝いをいたします。

## 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

本社/〒321-0904 栃木県宇都宮市陽東五丁目9番21号  
phone.028(662)2511(代) fax.028(662)4278  
URL:<https://www.pto.co.jp/> E-mail:s@pto.co.jp



歴史・誇り・品質・技術・安全



鉄筋ガス圧接/エンクローズ溶接/養生クリーニング



株式会社 大場工業

代表取締役 波多野 健壽

〒321-0943 栃木県宇都宮市峰町570-1  
TEL.028-634-6560(圧接)  
FAX.028-635-0928  
E-mail: [obakogyo@wonder.ocn.ne.jp](mailto:obakogyo@wonder.ocn.ne.jp)  
<http://oba-kogyo.co.jp>

(公社)日本鉄筋継手協会正会員  
A級継手圧接施工会社認定 JRJI-A圧-105  
優良圧接会社認定 JRJI-優圧-089  
CB工法協会会員 R-106

栃木県版

# けじじ

とちぎ県の設計事務所の情報を発信!

Instagramはじめました!  
建設関連企業情報も投稿中!

2024年版

Instagramをフォローして  
他の企業の情報もチェック!



目の前に信頼できる講師がいるから  
一人の勉強時間も、独りじゃない。

# 栃木県 1級建築士 合格実績 No.1

令和6年度 1級建築士 学科+設計製図試験  
栃木県ストレート合格者占有率

75.0%

栃木県ストレート合格者 8名中／当学院当年度受講生 6名

令和6年度 1級建築士 設計製図試験  
栃木県合格者占有率

66.7%

栃木県合格者 24名中／当学院当年度受講生 16名

★学科+製図ストレート合格者とは、令和6年度1級建築士学科試験に合格し、令和6年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。※都道府県ストレート合格者数・都道府県合格者数は、(公財)建設技術教育普及センター発表に基づきます。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の後援提供者、過去受講生は一切含まれていません。(令和6年12月25日現在)

令和6年移転リニューアル  
**OPEN!**  
**小山校**

再開講初年から高実績！

令和6年度 2級建築士 設計製図試験

小山校  
当年度受講生  
合格率

85.7%

教室登録受験者 7名中／合格者 6名 (令和6年12月5日現在)

全国合格率  
47.0%に  
対して



総合資格学院



宇都宮校

TEL.028-614-4881

栃木県宇都宮市池上町4-2 アソルティ宇都宮 8F

スクールサイト  
[www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp)

コーポレートサイト  
[www.sogoshikaku.co.jp](http://www.sogoshikaku.co.jp)

X ⇒ '@shikaku\_sogo' LINE ⇒ 「総合資格学院」  
Instagram ⇒ 'sogoshikaku\_official' で検索!

小山校

※お問い合わせは宇都宮校 TEL.028-614-4881まで  
栃木県小山市城山町2-5-5 サンリックタワー 3F



栃木県の 每朝 10分で  
建設情報に  
強くなれる

県内の公共工事・入札情報を朝一番でポストにお届けします

✓ 公共工事情報

県内の建設計画や工  
事情情報をいち早くお  
伝えします。



✓ 入札情報

入札結果・予定・公  
告情報を最短で翌日  
に掲載します。



✓ 最新業界情報

建設関係団体の事業  
活動、企業の取り組  
みを網羅。



新聞名が 2024 年 4 月 1 日から新しくなりました

1カ月  
お試し  
無料

栃木建設新聞  
火曜日～土曜日発行

1カ月  
8,100 円  
(税込)

原則として半年ごとのご契約となります。6カ月契約=48,600円(消費税込) 1年契約=97,200円(消費税込)

※軽減税率8%の対象商品です。

株式会社 日本工業経済新聞社

宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階  
営業時間 平日9時～18時

☎ 028-634-0141

㈹ 028-634-0045



試送お申込みはこちら





発行所

一般  
社団法人 **栃木県建築士事務所協会**

会長 山崎 良知

〒320-0032 宇都宮市昭和二丁目5番26号  
TEL 028(621)3954 FAX 028(627)2364  
HP : <https://www.tkjk.or.jp/> E-mail : [info@tkjk.or.jp](mailto:info@tkjk.or.jp)